

板橋区の蝶を調査する会定例観察会報告 180 号

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時 2025 年 12 月 6 日（土） 午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分

観察地域 赤塚公園番場地区～沖山地区～向口公園周辺 昼食：蝶の会発足 20 周年お祝い会

参加者 神山、川口、小林、坂本、長澤、宮崎、山田、米澤(8 名)

ランチ忘年会参加者（佐藤、荘司、含む 10 名）

当日の天気 晴、16℃

観察結果

アゲハチョウ科

①ジャコウアゲハ（幼虫・蛹）

シジミチョウ科

①ムラサキツバメ

②ヤマトシジミ

観察概要：

午前 10 時半過ぎに赤塚公園番場地区で冬に生息している蝶を探し始めました。晴れていますが、気温がやや低いようです。しかし、高速道路そばのマテバシイの中ほどの高さのところ辺りに陽が当たり、蝶が飛び出しました。どうやらムラサキツバメのようです。何とか採取できて確認すると、やはりムラサキツバメでした。また、ムラサキツバメが止まっている葉の辺りを揺さぶると、10 匹くらいの蝶が飛び出しました。どうやらここで集団越冬中のようです。ひき続き、高速道路から離れた川島建材の近くで、マテバシイの葉に 10 匹位の集団で越冬中のムラサキツバメを確認しました。去年は番場地区での集団越冬が確認できませんでしたが、2 年ぶりの越冬中確認となりました。

次に番場地区にあるウmanoszukusaの自生場所に行きました。11 月末まではジャコウアゲハの幼虫や蛹が確認できていました。まだ幼虫がいました。終齢幼虫もいましたが、3 齢か 4 齢の幼虫もいました。今後蛹になれるのでしょうか？気になるところです。寒いせいでしょうか、ウmanoszukusaを食べる体力が無いようで、葉の上でじっとしていました。

11 時 10 分、沖山地区に移動しました。昨年までは 3 年間ほど同じシュロの葉で大量の集団（20 匹以上）越冬中が確認されていましたが、今年はシュロの葉にムラサキツバメの大量集団ではなく、2～3 匹の越冬中個体を確認しました。しかし、シュロのすぐそばにあるトウネズミモチの葉に集団で越冬中の 10 匹程のムラサキツバメを見つけました。沖山地区でも多くの越冬中の集団が確認出来て安心しました。しかし、集団越冬中のムラサキツバメは、1 月中旬位になるといなくなってしまう。別の場所に移動しているのか、寒さに耐えられずに死んでいるのか不明です。集団越冬している葉の下あたりにはムラサキツバメの死骸は見つけられていません。また、5 月～6 月頃に卵・幼虫・蛹及び成虫の確認ができていません。この地区において、ムラサキツバメは冬を越し次世代に引き継がれていることが確認できていませんので、今後も蝶の会で確認していきたいと思っています。ここから、南側の道路沿いを回りながら観察していくと、ヤマトシジミが飛んでいました。丘の上を中心に沖山地区の南側を一回りしましたが、飛んでいてもよいと思われるキタキチョウやウラギンシジミ等が確認できませんでした。

11 時 55 分、ここから南側にある向口公園に行きました。ここの周辺では昨年、クロマダラソテツ

シジミが確認できていました。しかし、蝶は何も確認できませんでした。

12時15分となり、蝶の会が発足してから20周年のお祝い会場へと向かい、今日の観察は終了としました。

今日は、少し寒かったのでしょうか、ムラサキツバメの集団を含む3種の蝶（幼虫・蛹を含む）だけの観察となりました。

(2025年12月6日観察会写真)



番場地区高速そばのマテバシイで



番場地区川島建材そばのマテバシイで



番場地区ジャコウアゲハ幼虫4齢か



番場地区ジャコウアゲハ蛹



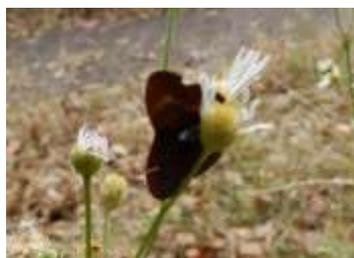
沖山地区シュロの葉で



沖山地区トウネズミモチの葉で



沖山地区ヤマトシジミ



新害虫？チュウゴクアミガサハゴロモ



蝶の会発足20周年お祝い会